

2024年度 第6回マッチングワークショップ（MWS）実施案内

開催日時	2024年11月4日（月）13:00～15:00								
事前課題のまとめと提出	<p>※課題提出用フォーマット(A4 サイズ)にデータ入力したものをプリントアウトするか、フォーマットのプリントアウトに手書きで作成したものを、当日必ず持参してください。</p> <p>※枚数や体裁は特に指定しません。</p> <p>※持参した事前課題の提出用シートは、MWSの終了後に提出してもらいます。</p> <p>【注意】提出用シートを持参しなかった方は、MWSに参加できません。</p>								
	<p>以下の課題について、Web やニュース等で調べられる関連情報も参考に、自分の考えをまとめてください。</p> <p>現在、日本政府は理系人材の育成を強化するための様々な取り組みを行なっています。その根拠となっているのは、将来不足すると予想される人材が理系分野に関わるものが多いためです。下のグラフは、経済産業省が企業に対して将来技術者が不足すると予想される分野についてアンケートを採った結果をまとめたものです。このグラフと関連する調査をもとに、以下の①、②に取り組んでください。</p> <p>① 技術者の不足が4%を越えると予想される主な分野はどのような分野ですか。2つから3つ取り上げてください。また、そのように予想される理由についてそれぞれ考えてみてください。</p> <p>② 将来的な技術者不足を解消するためにはどのような取り組みが考えられますか。政府の取り組みも参考にしながら、あなたの意見をまとめてください。</p> <p style="text-align: center;">5年後技術者が不足すると予想される分野(上位3分野を回答) (企業アンケート)</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>5年後技術者が不足すると予想される分野(上位3分野を回答) (企業アンケート)</caption> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械工学(設計・エンジニアリング、材料・流体等)</td> <td>約12.5%</td> </tr> <tr> <td>自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学</td> <td>約7.5%</td> </tr> <tr> <td>電力・アナログ・デジタル回路</td> <td>約3.5%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">出所：経済産業省産業技術環境局大学連携推進室「理工系人材需給状況に関する調査結果」（平成30年4月）より一部抜粋し作成</p>	分野	割合	機械工学(設計・エンジニアリング、材料・流体等)	約12.5%	自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学	約7.5%	電力・アナログ・デジタル回路	約3.5%
分野	割合								
機械工学(設計・エンジニアリング、材料・流体等)	約12.5%								
自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学	約7.5%								
電力・アナログ・デジタル回路	約3.5%								